

アドビ、「Acrobat AI アシスタント」（日本語版）の一般提供を開始

- 「Acrobat AI アシスタント」の日本語のユーザーインターフェースで日本語ドキュメントの読み込みが可能に
- 「Acrobat AI アシスタント」により、ドキュメントの内容に関する要約や質問への回答、インテリジェントな引用、コンテンツの生成とスムーズな共有が可能に
- Acrobat および Acrobat Reader のデスクトップ版、web アプリ、モバイル版アプリおよびブラウザ拡張機能で利用可能に
- 月額 680 円からの追加のサブスクリプションで Acrobat AI アシスタントの全ての機能が利用可能に



【2025年2月12日】

アドビ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中井 陽子、以下アドビ）は本日、Adobe Acrobat の生成 AI 機能「[Acrobat AI アシスタント](#)」の日本語版の一般提供を開始したことを発表します。Acrobat AI アシスタントは、Adobe Acrobat Reader および Adobe Acrobat のデスクトップ版、web アプリ、モバイル版アプリおよびブラウザ拡張機能において、月額 680 円からの追加のサブスクリプションで利用いただけます。

あらゆるデジタルドキュメントを情報資産に

Acrobat AI アシスタントは、Acrobat Reader と Acrobat のワークフローに深く統合された、生成 AI ベースの最新の対話型エンジンです。アドビは、AI アシスタントの提供によって、全世界の約 3 兆もの PDF の情報から新たな価値を引き出し、生成 AI により、個人や企業があらゆる種類のデジタルドキュメントから素早く、かつ簡単にインサイトを得ることで、オフィス環境で働くナレッジワーカーと消費者の生産性向上を支援し、デジタルドキュメントの価値を再創造します。

Acrobat AI アシスタントの主な機能と利点

Acrobat AI アシスタントにより、ユーザーは、PDF およびその他のドキュメント（Word、PowerPoint、会議の議事録など）を利用し、より生産的に作業を遂行することができます。

- **「AI アシスタント」**：PDF のコンテンツに基づき、推奨される質問を提示したり、質問に対する回答を作成します。これらはすべて、直感的な対話型インターフェイスを通じて行われます。
- **「生成要約」**：複数または長文のドキュメントを解析し、全体要約、セクションごとの要約を生成します。PDF 内にある情報のみを要約するため、生成 AI で発生するハルシネーションなど信頼性の低い情報を提示することはありません。
- **インテリジェントな引用**：アドビのカスタマイズしたアトリビュションエンジンと独自の AI が引用を生成するため、ユーザーは AI アシスタントの回答の情報ソースを簡単に確認できます。
- **わかりやすいナビゲーション**：クリック可能なリンクにより、長文ドキュメントの中から必要な情報を素早く見つけることができます。
- **利用目的に応じた文章の生成**：要約された情報を、電子メール、レポート、プレゼンテーションなどの様々な形式にフォーマットすることができます。「コピー」ボタンにより、コピー＆ペーストや共有を簡単に行うことができます。

- **顧客データの尊重**：Acrobat Reader および Acrobat の AI アシスタント機能は、データセキュリティプロトコルによって管理されており、顧客のドキュメントの内容が同意なしに保存されることや、AI アシスタントのトレーニングのために使用されることはありません。
- **PDF の枠を超えて**：あらゆる文書形式（Word、PowerPoint、会議の議事録など）のファイルを AI アシスタントに読み込ませて使用することができます。

2024 年にアドビが実施した、社内資料をデジタル管理しているデスクワーカー400 名を対象にした「[ビジネスにおける過去資料の活用状況](#)」に関する調査によると、全体の 87%が業務で過去の社内資料を参照・再利用していると回答しました。過去資料を活用する際の最大課題としては、「必要な資料の検索に時間がかかる（52.4%）」、「資料内の必要な情報にたどりつけない（43.4%）」が挙げられ、社内資料をより効率的に検索し利用する方法が求められていました。

また、AI による業務効率化が期待される一方で、情報漏洩やハルシネーション（AI が事実に基づかない情報を生成する現象）など、安全性や情報の正確性が AI の導入における課題として挙げられています。

アドビ株式会社 Document Cloud のシニアプロダクトマーケティングマネージャーである立川太郎は次のように述べています。

「Acrobat AI アシスタントを使ってドキュメントと対話できるようになることで、誰もがより生産性の高い業務ができるようになります。生成 AI は、大量の文書から必要な情報を素早く見つけ出し、新しい発見を得たり、さらにコンテンツを作成するのに役立ちます。また、生成される情報には引用元が表示されるので、情報の正確性を確認しながら安心してご利用いただけます。これにより、日本市場でも日常業務の生産性が向上し、デジタルドキュメントの価値が再定義されると確信しています。」

PDF 用の生成 AI で信頼を構築

PDF は、個人や組織が最も重要な情報を保持するフォーマットです。アドビが PDF を提供開始してから 30 年以上が経った今でも、Acrobat は PDF の読み取り、編集、変換のスタンダードであり続けています。Acrobat AI アシスタントは、数々の受賞歴を誇る Liquid Mode と同じ人工知能と機械学習モデルを活用することで、PDF の構造と内容を独自に理解し、Acrobat の AI アシスタントのアウトプットの品質と信頼性を大幅に高め、サードパーティ LLM のテクノロジーを補完しています。

アドビのカスタマイズしたアトリビューションエンジンによって引用を生成することで、ユーザーは回答の情報ソースを容易に確認できます。

アドビの他の AI 機能と同様、Acrobat AI アシスタントもアドビの AI 倫理プロセスに準拠して開発されており、個人から世界有数の企業まで、あらゆるユーザーが安心して AI 機能を利用できるよう、ガードレールを設けています。アドビは、サードパーティの LLM がアドビの顧客データに関するトレーニングを行うことを禁止しています。

価格と提供時期

Acrobat AI アシスタント（日本語版）は、無料の Adobe Acrobat Reader および有料の個人向け Adobe Acrobat において、月額 680 円からの追加のサブスクリプションを通じて本日からご利用いただけます。Acrobat AI アシスタントのサブスクリプションプランは、デスクトップ版、web アプリ、モバイル版アプリおよびブラウザ拡張機能で利用可能です。モバイル版アプリは音声コマンドにも対応しています。

※Acrobat AI アシスタントの使い方やユースケースの詳細については[アドビブログ](#)でも紹介しています。

※本発表についての動画はこちら <https://youtu.be/UCv-uhOjDpo>

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト（<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>）をご覧ください。

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.